



2019年8月29日

各位

上場会社名 トミタ電機株式会社  
 代表者氏名 代表取締役社長 神谷 哲郎  
 (コード番号 6898)  
 問合せ先責任者取締役管理本部長 神谷 陽一郎  
 (TEL 0857-22-8441)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年6月7日に公表した2020年1月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正について

2020年1月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年2月1日~2019年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	761	14	14	10	15.83
今回修正予想(B)	532	△ 102	△ 102	△ 104	△ 159.06
増減額(B-A)	△ 228	△ 116	△ 116	△ 115	
増減率(%)	△ 30.0	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績(2019年1月期第2四半期)	732	△ 16	△ 13	△ 10	△ 15.58

2020年1月期通期連結業績予想数値の修正(2019年2月1日~2020年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,562	49	49	38	57.90
今回修正予想(B)	1,243	△ 93	△ 93	△ 98	△ 149.53
増減額(B-A)	△ 318	△ 142	△ 143	△ 136	
増減率(%)	△ 20.4	-	-	-	
(ご参考)前期実績(2019年1月期)	1,420	△ 114	△ 115	△ 117	△ 177.62

2. 個別業績予想数値の修正について

2020年1月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2019年2月1日~2019年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	528	△ 0	1	△ 1	△ 1.60
今回修正予想(B)	383	△ 81	△ 77	△ 80	△ 121.87
増減額(B-A)	△ 144	△ 81	△ 79	△ 79	
増減率(%)	△ 27.4	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績(2019年1月期第2四半期)	524	△ 22	△ 17	△ 14	△ 21.44

2020年1月期通期個別業績予想数値の修正(2019年2月1日~2020年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,091	8	10	5	8.82
今回修正予想(B)	843	△ 86	△ 82	△ 87	△ 132.33
増減額(B-A)	△ 247	△ 94	△ 93	△ 93	
増減率(%)	△ 22.7	-	-	-	
(ご参考)前期実績(2019年1月期)	991	△ 98	△ 97	△ 96	△ 146.94

### 3 修正の理由

#### <連結業績>

2020年1月期第2四半期の連結累計期間におきましては、米中貿易摩擦による中国経済の悪化と長期化、更にそれに関連する国内電子産業の低迷といった影響を、中国ならびに国内市場において、まともに受けております。

米中関係は改善方向に向かい年後半からは世界経済は再び堅調に推移するものと予想しておりましたが、それが全く逆の方向に進み、円高（期首想定レート110円/US\$に対し第2四半期末レート107円/US\$）も含めた直近の事業環境と今期の上半期の実績見込みを踏まえて、通期業績を前記の通り修正いたします。

売上高は前回予想を下回る5億3千2百万円となる見込みです。損益面では、生産及び検査設備の自動化、更新等生産効率の向上による原価の低減ならびに経費等の削減に努めましたが、売上高減少に伴う稼働率の低下により前回の利益予想から損失計上となる見込みです。営業損失は1億2百万円、経常損失は1億2百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は1億4百万円となる見込みです。

2020年1月期通期におきましては、情報通信関連及びF A関連の需要に回復が見られるものの、その他分野における売上高減少の影響により、営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する当期純損益は損失計上となる見込みです。

#### <個別業績>

2020年1月期第2四半期累計期間におきましては、連結業績において記載した内容と概ね同様の理由により、売上高は3億8千3百万円、営業損失は8千1百万円、経常損失は7千7百万円、四半期純損失は8千万円となる見込みです。

2020年1月期通期におきましても、連結業績と概ね同様の理由により、営業損益、経常損益、当期純損益は損失計上となる見込みです。

#### (注意事項)

上記に記載した予想は、作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上